

故鈴木秀明さんのご家族に 叙勲を伝達

故鈴木秀明さん（田代区）の生前の功績をたたえ、3月16日、役場本庁舎で鈴木町長からご家族に「旭日単光章」が伝達されました。

故鈴木秀明さんは、平成元年9月、本川根町議会議員に当選、3期12年の永きにわたり、強い信念と卓越なる識見で地方自治の伸展に寄与されました。

特に、地域活性化対策の目玉として観光事業に着目し、白沢温泉もりのいずみ、もりのコテージの建設や千頭駅周辺地区において奥大井音戯の郷、千頭温泉の掘削配湯など、現在の川根本町北部の観光拠点整備に力を注ぎ、観光客の誘客に貢献されました。

また、平成元年のふるさと創生事業では、人材育成事業として町民の海外研修の必要性を唱え、平成4年には、自ら調査団の一員として交流先の候補地であるアメリカへ出向き、平成5年から町民、中学生の文化交流、ホームステイ研修事業の実現に尽力されるなど、地域の発展のため、数多くの事業を推進し功績を残されました。

引っ越しされた方は マイナンバーカード・通知カードの 更新手続きが必要です

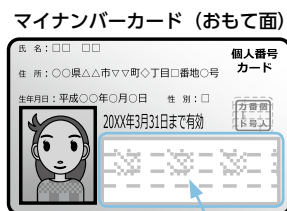
引っ越し等で住所が変わる場合は、ご自身のマイナンバーカード又は通知カードに新しい住所を追記する必要があります。

引っ越し先の市区町村窓口で転入届（同一市区町村内での引っ越しの場合は転居届）を提出する際に、マイナンバーカード又は通知カードの変更手続きを行ってください。マイナンバーカードは、住所変更手続きを忘れたまま90日が経過すると失効してしまいますのでご注意ください。

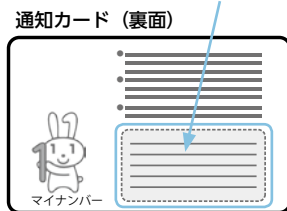
○マイナンバーカードの交付申請中に引っ越しをされた方は

旧住所地でマイナンバーカードの交付申請を行い、受け取り前に引っ越しをされる場合には、申請中のマイナンバーカードは無効になるため、引っ越し先の市区町村窓口で改めて交付申請を行っていただく必要があります。

【見本】



新住所追記欄



「あと一步 力になるよ その思い」

（児童福祉週間 標語）

5月5日～11日は、「児童福祉週間」です。子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業および行事を行っています。

「子ども・家庭110番」

「子ども・家庭110番」は、平成2年に静岡県が設置した電話相談窓口です。

子どもや親子関係、家庭、子育て全般などについて、悩みや相談を受け付けています。

平成28年度には、県下全域から約2300件の相談が寄せられています。

匿名での電話相談ですので、相談者の秘密が守られます。

電話番号：054(273)4152

〈中部地区〉

相談時間：平日は午前9時～午後8時、

土日は午前9時～午後5時です。

（祝日、年末年始はお休みです）

平成29年度「ふるさと納税」についての公表

平成29年度に「ふるさと納税」によっていただいた寄附金は左記のとおりです。

温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

◆件数 588件
◆寄附金額 1千417万円

◆人口減少の克服を目指すプロジェクト

◎特色ある教育の展開

いただいた寄附金は、川根本町のまちづくりのために充当させていただきました。一部をご紹介させていただきます。

◎多様な就労環境の創出

テレワーク講習会の開催、企業誘致推進ツアーの開催など

◆川根本町の強みを活かすプロジェクト

◎林業振興事業

桑野山貯木場の管理運営・施設改修、公共造林（間伐、作業道開設、防護柵設置）、FSC普及啓発 など

◎観光振興・地域間交流促進事業

SLフェスタの開催、モニターツアー・情報誌掲載によるアプト式鉄道への誘客、各種エコツアーリズムの開催、キャンプ場の施設改修 など

これからも「豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと」を目指して、住民と行政が連携・協働してまちづくりを進めていきます。引き続きみなさまのご支援を賜りますようお願いいたします。

また、町歩きも大好き。地区ごとで全然違った景色が見られること、四季折々とたくさんの自然に出会えることに加え、歴史や民話・伝統が残っていること、とても素晴らしいことだと思っています。

何かやりたいと思う気持ちが自然に湧いてきて、それを実現できる環境がある。それがこの町の良いところだと思います。まだまだ教えてもらうことが多い私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



梅沢さんの竹細工ワークショップ。皆さん初心者ですが、竹ひごづくりから挑戦して籠を完成させました。

ECO-T
KAWANE

一般社団法人エコティかわね
川根本町桑野山424-6
電話：0547-58-7000
ファクス：0547-58-7001
E-mail:ecotkawane@gmail.com

命のバトンを繋ぐために上陸してくるウミガメ、満天の星空や、林道で鹿とサルと一緒に日向ぼっこをしている姿。感動することは多かったですが、一度台風が来れば一晩で砂浜の砂が流され、波が道路まで打ちあがり、風の音で眠れないほど怖い思いもしました。

このような経験を踏まえて、せっかく川根本町でエコツーリズムに関わるのだから、いつかは子どもたちと自然体験プログラムをやってみたいと思っています。まずは行動ということで、先日野花図鑑や樹の図鑑を購入してしまいました！

もちろん屋久島とは違いますが、川根本町もエコパークに登録されるほどの素晴らしい自然が残っている場所。まだまだ勉強不足ですが、少しずつ川根本町の自然にも触れて覚えていこうと思っています。

初めましての方も、お久しぶりの方も、こんにちわ。8代目の緑のふるさと協力隊として4年前に町で活動をしていました、丸野宏夏（丸ちゃん）です。出身は鹿児島県の南九州市知覧町です。協力隊で過ごした時の川根本町での生活が忘れられず、この町に戻ってきて、この度エコティかわねの事務局で働くことになりました。

ここに来る前は約1年間、屋久島で働いていました。屋久島の自然に触れるうち、自然の偉大さや神秘的に気づかされるのがとても多かったです。人の存在を意に介さず、ドーンと大きく構えて根を張っている樹や植物たち。



丸野宏夏（まるの ひろか）
鹿児島県南九州市（旧知覧町）出身。平成26年4月より一年間、緑のふるさと協力隊として本町で活動。大学卒業後、屋久島のNPO法人に勤務した後、平成29年8月より川根本町まちづくり観光協会へ。この4月よりエコティかわね事務局員として、エコツーリズム推進の舵取り役に！

◆川根のみきていとまるちゃんが綴る「ブログ版 川根本町エコティ日記」<http://ecotkawane.eshizuoka.jp/>